

☆現在、桃は収穫ピーク中と、また各品目の収穫時期についても近づいてきております。薬剤の収穫前日数に注意して散布してください。

☆不明の点がありましたら、営農指導員までお問い合わせ下さい。

果樹防除情報については県からの発生予察情報をもとに作成しておりますが、皆様におかれましても防除の際には、防除暦を参照するとともに使用農薬に記載されている希釈倍数等の内容を必ず確認して防除されます様お願いします。

注意事項 展着剤は、各樹種共通でアイヤーエース10,000倍又はラビデン3S 10,000倍を使用する。

【 も も 】(防除暦 30～31頁参照)

※対象病害虫の()内は、注意事項の部分での対象を示しています。

※収穫が終了した園にも、シンクイムシ類・モモハモグリガ対策として殺虫剤のみの散布をお願いいたします。

散布回数	散布時期	対象病害虫	薬剤の種類及び濃度(水100ℓ当り)	SS 散布量
14	8／10頃 川中島白桃 収穫直前	灰星病・ホモプシス腐敗病 すすかび病・果実赤点病 モモハモグリガ・シンクイムシ類 アザミウマ類・アブラムシ類 カメムシ類・カイガラムシ類	合ピレ剤使用可能地域 1. 展着剤 2. ベルクート水和剤 1,000倍 (100g) 3. ※モスピラン顆粒水溶剤(15回目より繰り上げ) 2,000倍 (50g) 合ピレ剤使用規制地域(養蚕地帯) 1. 展着剤 2. ベルクート水和剤 1,000倍 (100g) 3. ※ダイアジノン水和剤(15回目より繰り上げ) 1,000倍 (100g)	300ℓ
		1. 収穫後、枝に袋が残らないよう収穫を行って下さい。		
15	8／20頃 ゆうぞら収穫直前 さくら白桃除袋後	灰星病 ホモプシス腐敗病	1. 展着剤 2. ファンタジスタ顆粒水和剤 3,000倍 (33g)	300ℓ
16	8／30頃 極晩生種 収穫直前	灰星病 ホモプシス腐敗病 (シンクイムシ類・モモハモグリガ)	1. 展着剤 2. ロブラール水和剤 1,500倍 (65g)	300ℓ
		1.シンクイムシ類・モモハモグリガの発生が多い場合は、ノーモルト乳剤1,000倍(100cc)も使用する。但し、合ピレ剤使用規制地域では使用しないこと。 2.今回以降に収穫する品種については、オンリーワンフロアブル 2,000倍(50cc)を使用する。		

【 り ん ご 】(防除暦56頁参照)

散布回数	散布時期	対象病害虫	薬剤の種類及び濃度(水100ℓ当り)	SS 散布量
特別散布	8／8頃	落果防止剤 (サンつがる)	1. ストップール液剤 (防除暦65頁参照) 1,500倍 (65cc) ※展着剤は加用しない。他剤とは混用しない。 ※軟化防止のため1回散布を基本とする。 収穫前規制: 収穫開始予定日の25日前～7日前	300ℓ
12	8／12頃	斑点落葉病・輪紋病・炭そ病 褐斑病・すす点・すす斑病 黒星病・黒点病 シンクイムシ類・キンモンホソガ ギンモンハモグリガ・アブラムシ類 リンゴワタムシ・カメムシ類	1. 展着剤 2. セリファームブルーS(日焼け軽減対策) 1,000倍 (100cc) 3. ダイパワー水和剤 1,000倍 (100g) 4. モスピラン顆粒水溶剤 2,000倍 (50g)	500ℓ
		1. 隣接園に注意して散布する。 2. モスピラン顆粒水溶剤は、合ピレ剤使用可能地域での使用とする。 3. 今後も高温が続く場合は、日焼け軽減対策として「セリファームブルーS 1,000倍」を定期散布への加用も含め2～3回使用してもよい。		
13	8／26頃	斑点落葉病・輪紋病 すす点・すす斑病 褐斑病・炭そ病 (シンクイムシ類・キンモンホソガ) (ハマキムシ類・カメムシ類)	1. 展着剤 2. ナリアWDG 2,000倍 (50g)	500ℓ
		1. シンクイムシ類、キンモンホソガ、カメムシ類の発生が多い場合は、スカウトフロアブル2,000倍(50cc)も使用する。ただし、合ピレ剤使用規制地域では使用しないこと。 2. ナリアWDGは、洋梨(ル・レクチェ)の果実及び、ぶどう(ピオーネ)葉に薬害を生ずる恐れがあるので、注意して散布する。 3. アンマルカイカフムン(アンホーセカイカフムン)の里営防除時期のため発生が多い場合は、コルト顆粒水和剤 3,000倍(33cc)も使用する。		

【 ぶ ど う 】(防除暦129頁参照)

ボルドー液散布のため、隣接するもも園への飛散には十分注意してください。

散布回数	散布時期	対象病害虫	薬剤の種類及び濃度(水100ℓ当り)	SS 散布量
11	8／10頃	黒とう病 べと病 さび病	1. ①アビオンE 1,000倍 (100cc) ②ICボルドー66D 50倍 (2kg) または 4-4式ボルドー液 ①アビオンE 1,000倍 (100cc) ②生石灰 (400g) ③硫酸銅 (400g)	300ℓ
		1. ICボルドー66Dまたは、4-4式ボルドー液に替えてムッシュボルドーDF500倍(200g)をクレフノン100倍(1,000g)加用で使用してもよい。		
12	8／25頃	黒とう病 べと病 さび病	1. ①アビオンE 1,000倍 (100cc) ②ICボルドー66D 50倍 (2kg) または 4-4式ボルドー液 ①アビオンE 1,000倍 (100cc) ②生石灰 (400g) ③硫酸銅 (400g)	300ℓ
		1. ICボルドー66Dまたは、4-4式ボルドー液に替えてムッシュボルドーDF500倍(200g)をクレフノン100倍(1,000g)加用で使用してもよい。		

【 赤 な し 】 幸水・豊水・あきづき・秀玉・新高・王秋(防除暦83～84頁参照)

散布回数	散布時期	対象病害虫	薬剤の種類及び濃度(水100ℓ当り)	SS 散布量
14	8／6頃	シ ン ク イ ム シ 類	1. フェニックスフロアブル 4,000倍 (25cc)	250ℓ
15	8／16頃	シ ン ク イ ム シ 類 カ メ ム シ 類	1. アルバリン顆粒水溶剤 2,000倍 (50g)	250ℓ
		1. アルバリン顆粒水溶剤とスタークル顆粒水溶剤は同一薬剤なので使用回数に注意する。 2. シンクイムシ類の発生が多い場合は、アルバリン顆粒水溶剤にかえてモスピラン顆粒水溶剤2,000倍(50g)を使用する。		
16	8／26頃	シ ン ク イ ム シ 類 (カ イ ガ ラ ム シ 類)	1. 展着剤 2. スカウトフロアブル 2,000倍 (50cc)	250ℓ
		1. カイガラムシ類の発生が多い場合は、トランスフォームフロアブル 2,000倍(50cc)も使用する。		

【 青 な し 】 二十世紀・南水(防除暦91～92頁参照)

散布回数	散布時期	対象病害虫	薬剤の種類及び濃度(水100ℓ当り)	SS 散布量
14	8／6頃	黒 斑 病 ・ 黒 星 病 (シ ン ク イ ム シ 類)	1. キノドー顆粒水和剤 1,000倍 (100g)	300ℓ
		1. 南水でシンクイムシ類の発生が多い場合はフェニックスフロアブル4,000倍(25cc)も使用する。		
15	8／16頃	黒 斑 病 ・ 黒 星 病 (シンクイムシ類・カメムシ類)	1. ストロビードライフフロアブル 2,000倍 (50g)	300ℓ
		1. 南水でシンクイムシ類の発生が多い場合はアルバリン顆粒水溶剤2,000倍(50g)も使用する。		
特別 散布	8／26頃	シ ン ク イ ム シ 類 (カ イ ガ ラ ム シ 類)	1. スカウトフロアブル 2,000倍 (50cc)	300ℓ
		1. 南水でシンクイムシ類の発生が多い場合は散布する。 2. 南水でカイガラムシ類の発生が多い場合は、トランスフォームフロアブル 2,000倍(50cc)も使用する。		
特別 散布	8月下旬	落 果 防 止 剤	1. ストップール液剤(防除暦103頁参照) 2,000倍 (50cc)	250ℓ
			※展着剤は加用しない。他剤とは混用しない。 収穫前規制: 収穫開始予定日の14日前～7日前	

【 お う と う 】 (防除暦148頁参照)

散布回数	散布時期	対象病害虫	薬剤の種類及び濃度(水100ℓ当り)	SS 散布量
12	8月上旬	褐 色 せ ん 孔 病 (ハ ダ ニ 類)	1. 展着剤(ラビデン3S) 2. チオノックフロアブル 500倍 (200cc)	500ℓ
		1. ナミハダニの発生が見られる場合は、マイトコーネフロアブル1,000倍(100cc)も使用する。 2. 今回以降降雨が続く場合は、チオノックフロアブル500倍(200cc)を使用する。なお、チオノックフロアブルの散布は年間5回なので回数に注意する。		

【 か き 】 (防除暦158頁参照)

散布回数	散布時期	対象病害虫	薬剤の種類及び濃度(水100ℓ当り)	SS 散布量
7	8月 中旬頃	炭 そ 病 ・ 落 葉 病 う ど ん こ 病 アザミウマ類・カメムシ類 チャノキイロアザミウマ	1. 展着剤 2. ストロビードライフフロアブル 3,000倍 (33g) 3. アルバリン顆粒水溶剤 2,000倍 (50g)	400ℓ
		1. 合ピレ剤使用規制地域(養蚕地帯)ではアルバリン顆粒水溶剤にかえて、スミチオン乳剤1,000倍(100cc)を使用する。		

【 す も も 】 (防除暦170頁参照)

散布回数	散布時期	対象病害虫	薬剤の種類及び濃度(水100ℓ当り)	SS 散布量
11	8月 下旬頃 (秋姫収穫直前)	灰 星 病 シ ン ク イ ム シ 類	1. オンリーワンフロアブル 2,000倍 (50cc) 2. バリアード顆粒水和剤 4,000倍 (25g)	300ℓ
		1. 合ピレ剤使用規制地域(養蚕地帯)では、バリアード顆粒水和剤は使用しない。		

【 ネ ク タ リ ン 】 (防除暦191～192頁参照)

散布回数	散布時期	対象病害虫	薬剤の種類及び濃度(水100ℓ当り)	SS 散布量
13	8／1頃	灰 星 病 ・ ホ モ フ シ ス 腐 敗 病 モモハモクリガ・シンクイムシ類 ア ブ ラ ム シ 類	1. 展着剤 2. ナリアWDG 2,000倍 (50g) 3. スカウトフロアブル 2,000倍 (50cc)	300ℓ
		灰 星 病 ホ モ プ シ ス 腐 敗 病	1. 展着剤 2. ベルコートフロアブル 1,500倍 (65cc)	
14	8／11頃	1.シンクイムシ類の発生が多い場合は、アルバリン顆粒水溶剤2,000倍(50g)も使用する。		

※表中の日付は果樹研究所(飯坂町平野)を基準にしております。各園地との差異を考慮して、適期防除に努めてください。

★農薬散布は、無風又は風の弱いときに行うなど、近隣に影響の少ない天候の良い日を選んで散布しましょう。散布時間帯についても通学や出勤時間帯は避け、住宅地に隣接している園地では十分注意して散布をお願い致します。また、希釈倍数・散布量・散布時期(収穫前日数)にも十分注意してください。

果樹園周辺に野菜園地がある場合には特に注意してください!!